

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。  
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二三年（令和五）年度

東北学院高等学校

〈特別進学コース自己推薦〉

国語

二〇二三年（令和五）年一月十一日（水）

九時二十分～十時十分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の文章は、医師・医学博士である稲葉俊郎『いのちの居場所』の一節である。これを読み、後の問いに答えなさい。（設問の都合上、本文を一部改めたところがあります。）

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(稲葉俊郎『いのちの居場所』より)

問一 I・II に入る語としてふさわしいものを、次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア なぜ      イ むしろ      ウ つまり      エ いわゆる      オ ところで

問二 —— 部(1) 「なぜわたしたち人類は、共同体をつくったのでしょうか」について、その答えを本文中の語句を用いて四十五字以内で説明しなさい。句読点などの記号も一字とし、以下の設問でも同様とします。

問三 —— 部(2) 「無数にある力を疎かにした社会」の例としてふさわしくないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 不景気で業績が悪化し非正規雇用者を解雇する。  
イ 安価な商品を提供するため低賃金で労働者を雇う。  
ウ 医療体制を維持するため人々の行動を制限する。  
エ ソーシャルメディアを規制するなど言論統制を行う。  
オ 宗教上の教えを理由に女性の就学や就労を禁止する。

問四 —— 部(3) 「つながりには『距離』こそが重要です」について、筆者が予測する、これからの時代に求められる「つながり」を本文中から一文で探し出し、最初の五字を書きなさい。

問五 【 A 】・【 B 】に入る言葉の組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

【 A 】・【 B 】

- ア 拒絶 ・ 容認
- イ 賛同 ・ 把握
- ウ 回答 ・ 質問
- エ 理解 ・ 同意
- オ 信頼 ・ 意見

問六 —— 部(4)「地球語のレベルに降り立」つとはどういうことか。それを説明した次の文の空欄を補うのにふさわしい表現を、二十五字以内でわかりやすく答えなさい。

( )  
と考えること。

問七 —— 部(5)「分岐の Y 字路」とあるが、Y 字路が示す二本の道は、それぞれどのような未来を意味しているか、「Y 字路」に続く形で説明しなさい。ただし、\*と\*の間の本文の語句を用いてそれぞれ二十字以内で書くこと。

二

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

大学生の「ぼく」(梨木匠<sup>なしぎたくみ</sup>)は、同じ大学の香山<sup>かやま</sup>に誘われて参加したマラソン大会で、香山が何か言いかけたことに気づき、その続きを聞こうと後日リバーマラソンに誘った。ゴール後、香山は「ぼく」に、中学生の時に陸上を辞めたことを打ち明けた。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます



著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

## 著作物保護のため掲載を控えます

(瀬尾まいこ『掬えば手には』より)

問一 部①「やり過ぎ」す・②「他意が含まれない」の本文中の意味としてふさわしいものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |               |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
|---|---------------|-------|---|---------|---|-----------|---|-----------|---|------------|---|---|----------|---|----------|---|-----------|---|-------------|---|---------------|
| <p>① 「やり過ぎ」す</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">ア</td> <td>度を超える</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">イ</td> <td>途中で失敗する</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">ウ</td> <td>そのまま切り抜ける</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">エ</td> <td>無駄に時間を費やす</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">オ</td> <td>あれこれと考えすぎる</td> </tr> </table> | ア             | 度を超える | イ | 途中で失敗する | ウ | そのまま切り抜ける | エ | 無駄に時間を費やす | オ | あれこれと考えすぎる | <p>② 「他意が含まれない」</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">ア</td> <td>自分の意志がない</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">イ</td> <td>言外の意図がない</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">ウ</td> <td>まったく遠慮がない</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">エ</td> <td>相手を敬う気持ちがない</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">オ</td> <td>相手を疎んじる気持ちがない</td> </tr> </table> | ア | 自分の意志がない | イ | 言外の意図がない | ウ | まったく遠慮がない | エ | 相手を敬う気持ちがない | オ | 相手を疎んじる気持ちがない |
| ア   | 度を超える         |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| イ   | 途中で失敗する       |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| ウ   | そのまま切り抜ける     |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| エ   | 無駄に時間を費やす     |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| オ   | あれこれと考えすぎる    |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| ア   | 自分の意志がない      |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| イ   | 言外の意図がない      |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| ウ   | まったく遠慮がない     |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| エ   | 相手を敬う気持ちがない   |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |
| オ   | 相手を疎んじる気持ちがない |       |   |         |   |           |   |           |   |            |   |   |          |   |          |   |           |   |             |   |               |

問二 部(1)「十時を過ぎ、日が少し高くなって風は和らいでいる」という描写の効果の説明として、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 穏やかな天候の話題が二人の会話の糸口となっている。
- イ 香山が再び陸上選手を目指すことを示唆している。
- ウ 香山が過去の自分に怒りを覚える様子を喻えている。
- エ 時間の経過とともに興奮がおさまる様子を表している。
- オ 二人がお互いに心を開いていくことを暗示している。



三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を一部改めたところがあります。)

【本文】

著作物保護のため掲載を控えます

(『伊曾保物語』より)

【現代語訳】

著作物保護のため掲載を控えます

問一 ～～～部A「きやうに」・B「貧しう」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

問二  に当てはまる語句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ぞ      イ なむ      ウ や      エ か      オこそ

問三 —— 部(1)「梢に応ふばかりなり」とあるが、夏秋の間、蝉は何をしていたのか。わかりやすく説明せよ。

問四 —— 部(2)「いやしき餌食を求めて、何かはし給ふべき」という蟻の発言の真意として、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア あなたにやれるようなえさはありません。  
イ あなたのすばらしい声を聞かせてください。  
ウ 自分の歌のうまさ自信を持つべきです。  
エ その舞を披露すればえさは手に入ります。  
オ もっと豪華なえさをあなたにあげましょう。

問五 この話から得られる教訓を、【本文】から三十字以内で探し出し、最初の五字を書きなさい。

四

①～⑤の——部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の——部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- |   |              |   |            |
|---|--------------|---|------------|
| ① | 郷土史の本をアラワす。  | ⑥ | お話を伺う。     |
| ② | 怒りをオサえる。     | ⑦ | 練習に時間を割く。  |
| ③ | 土砂がタイセキする。   | ⑧ | 雪辱を遂げる。    |
| ④ | 伝統産業がスイタイする。 | ⑨ | 実行には時期尚早だ。 |
| ⑤ | 故人をツイトウする。   | ⑩ | 固唾をのむ。     |

